## ご家族・二世帯住宅の方へもご回覧下さい

## 防災だより

## 第17号

小田急金森泉自治会 自主防災隊 2022年7月3日発行

今年5月、東京都は直下型地震被害想定を見直しました。都心部は木造密集地減少などで以前の想定よりも被害は減りましたが、町田市は以前と余り変わらないので<u>安心してはいけません</u>。

日本は大きな4つのプレートが複雑に重なり、<u>大きな地震がいつどこで起きて</u>も不思議ではありません。先月、能登半島の先端辺りで大きな地震が2度発生しました。私たちは、**常に備えておかねばなりません**。

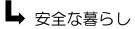
備えの基本は、<u>自分がケガをしない</u>ことです。ケガをしては、家族を助け、隣近所や地域のチカラにもなれません。元気でいれば、世話にならずチカラにもなるでしょう! 備えとは平時の今やっておくことです。それが適切かどうかで、大地震発生時とそのあと平常に戻るまで生き延びる生活に、大きな違いが出てきます。

今回は、備えについて分かり易く説明した警視庁の冊子**(回覧あり)**を紹介します。 「地震のときはこうしよう!」というものですが、警視庁のホームページでも見ることが できます。URL などは、以下のとおりです。 スマホでも見られます

https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/kurashi/saigai/jishin/index.html

検索は、警視庁ホームページ

QR J- F



┗→ 災害に備える「地震のときはこうしよう!」





平時の備えとは?

発災した時や、その後は?

地域のルールを確認しましょう! 家族のルールを決めておきましょう!

家族みんなが知っていることが大切! お父さんだけ知らないかも?

ご家族などみんなで読んで、 備えの確認・相談をしましょう!